

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

支所名	里支所	支所長名	平嶺 廣教
-----	-----	------	-------

部局の 経営資源	当初予算			
	構成人員	職員	嘱託	計
		25 人	6 人	31 人

部局の使命 (組織の存在価値)	里支所の使命は、基本理念「地域力の奏でる都市力の創出」に基づき、「元気な島」、「住みたい島」づくりに向け、きめ細かな行政サービスを提供することである。	組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <p>(1) 航路及び情報通信が改善され、多様な交流が活発化している。</p> <p>(2) 「元気な島」づくり事業が具現化され、活性化が図られ成果を上げている。</p> <p>(3) 自主防災組織等の活動や運営が円滑に進み、「安全・安心な町」としての成果を上げている。</p> <p>(4) 交流人口の増加が進み、観光事業の成果を上げている。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1) 組織全体の活性化が図られ、政策形成能力及び説明責任能力が高められ、質の高い行政サービスが提供されている。</p>
--------------------	---	-------	--

平成 2 0 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
本庁及び各支所間の 連携協調	一体感醸成事業の提言	・島内全体で実施する事業の検討(ソフト事業)	・元気な甕島研究会設置済 ・「かんぱち 雨乞いまつり」の提案	「かんぱち 雨乞いまつり」 H21 事業で採択
	航路開設の達成	・川内甕島間の航路開設に向け意見集約の促進	・環境づくりを促進中。	3 月再度コミュニティ協議会意見聴取 甕島 川内航路開設に賛成
	情報格差の是正	・本土及び甕島間ネットワーク増速事業の促進	・平成 20 年 10 月 2 日運用開始式 ・交換局整備の要望活動を促進中	N T T 交換局整備要請活動を継続
組織力向上	職員が一丸となって課題克服に挑戦(全員参加型の組織経営)	・「報(報告)連(連絡)相(相談)」の徹底 ・課内グループ制の機能化	・実施中	毎週火曜日支所内連絡会を開催 情報の共有・懸案事項協議

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

「元気な島」づくり に向け活性化対策の 検討	各種団体と語る会の実施	・商工会，漁業及び農業関係者，コミュニティ協議会等と語る会を実施し，ニーズ等の把握	・商工会及び農業関係者は実施済	商工会 - 1回 農業関係 - 12回 タマネギ部会 - 初出荷
	支所内に活性化方策検討部会の 設置と提言	・問題解決に向け，グループ長を部会長に，各課横断的な部会を設置，検討	・部会設置済 ・検討中	部会 - 3回 「かんぱち 雨乞いまつり」
定住支援対策の推進	「よかまち・きやんせ定住プラン」のPR	・地区コミュニティ協議会等との連携及び情報発信	・実施中	PR活動継続実施中
安全・安心な町づくりの 推進	自主防災組織の活動支援	・自主防災組織の研修会の開催 ・AED（自動体外式除細動器）の講習会の開催 ・陸上自衛隊の離島展開訓練の見学（里支所管内）	（11月に予定） （ " ） ・実施済	12月10日実施 （上甌分駐所） 7月14～18日市の浦海岸交流会（地区コミ・支所）
	西海岸防砂対策の提言	・各自治会との意見交換会の開催 ・関係機関との協議	・実施済	8月24日 2か所開催 H21 事業実施で協議中
共生・協働の推進	地区コミュニティ協議会等との協働及び自立促進	・地区コミュニティ協議会の支援 ・各自治会及び婦人団体等との連携と支援	・実施中	コミ協主催事業への支援 （敬老会・新成人を祝う集い・町民運動会等） 自治会長連絡会 - 5回
交流人口の拡大	参加及び体験型観光の事業実施	・ブルー・ツーリズム推進体制の支援	・実施中	11メニュー計画 - 問い合わせのみ(実施に至らず) ふるさと料理 - 1団体
	文化交流の事業の実施	・トンボロ芸術村コンテスト作品募集の促進 ・音の交流事業やワークショップの実施	・実施済 ・実施済	4部門 - 1,246人・1,957点 (写真・絵画・俳句・書道) 甌の風音楽祭 - 264人 ワークショップ - 203人
広報活動の充実	支所広報誌の発行（年3回）	・「里支所だより」の発行（4月・8月・12月） ・「里地域行事予定」（4ヵ月分）の発行（4月・8月・12月） ・広報編集委員会（各課1名）の設置	・4月及び8月発行済 ・実施中	支所だより - 2回 66.7% 年間行事計画カレンダーを配布

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>年度中間総括</p>	<p>本庁及び各支所間の連携協調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一体感醸成事業の提言 ソフト事業を立案し、企画政策課へ提案書を提出。 ・ 航路開設の達成 島内コミ協意見交換会及び甌島振興協議会等において、航路開設は地域の活性化に不可欠であり、意見集約のための環境づくりを促進中 組織力向上 「報・連・相」の徹底を周知し、おおむね順調に進行中 「元気な島」づくりに向け活性化対策を検討中 ・ 商工会 厳しい現状を認識。引き続き地域活性化に向け検討をしていくことを協議。地域づくりワークショップ（対象 商工会青年部、漁協青年部、市側）を検討中 ・ 農業関係者 9/16, 9/17, 10/8 農業振興検討会を実施、作物選定及び販路先並びに組織づくりを検討中 ・ 活性化方策検討部会（庁内に設置）の活動促進 共生・協働の推進 ・ 各自治会連絡会 2回開催、婦人団体（班長以上の会）連絡会1回開催 管内の年間事業等の説明。 安全・安心な町づくりの推進 ・ 離島展開訓練（ヘリ体験搭乗及び洋上訓練見学） 7/12～7/18 実施 自主防災組織、コミ協関係者等参加 ・ 西海岸防砂対策の提言 意見交換会を8/24 2か所で開催、提案・要望等を聞く。自治会長連絡会を9/22 開催し意見交換会の報告と今後の取り組みについて協議、本庁及び支所関係部・課と協議 交流人口の拡大 ・ トンボロ芸術村コンテスト実績（応募者数、応募作品数） 写真部門 19人 54点、 絵画部門 299人 335点、 俳句部門 564人 1,203点、 書道部門 364人 365点、 合計 1,246人 1,957点 ・ 音の交流事業実績 島内参加者（小・中学生）241人、甌の風音楽祭 出演者 156人、来場者 108人、計264人 ・ ワークショップ実績 島内小・中学生 90人、島外小・中学生 107人、 指導者5名、合計 203名 広報活動の充実 ・ 「里支所だより」、「里地域行事予定」を各2回発行、
<p>年度末総括</p>	<p>平成21年度の里支所経営方針は、職員の意識改革の浸透により、目標は概ね達成できたと思っている。</p> <p>8つの重点事項のうち、「交流人口の拡大」の具体的取り組み - プルーツリズム推進体制の支援は、漁業青年部を中心に11プログラムが計画されが、問い合わせのみで実施に至らなかった。甌観光のこれからの目玉商品であるので何とか実現に向けて、取り組んでいかなければならない。信頼ある里支所であるために、一段と高い目標を持ち、職員一丸となり、質の高い行政サービスの提供に挑戦したい。</p>